

2012年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	電気通信工学科						
科目名	プログラミング I 演習						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年後期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)/選択必修科目(電気エネルギーコース)/必修科目(情報システムコース)						
担当者	白土 浩 Hiroshi SHIRATSUCHI						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンパイル方法を理解し、Cの記述方法について習熟する。(A3,A8,B5)</li> <li>・ライブラリ・ヘッダファイルの概念や利用方法を実際の課題に基づいて習得する。(A3,B5)</li> <li>・与えられた数式や各種関数などをプログラムとして実装する方法を習得する。(A3,B5)</li> <li>・統合開発環境を利用したプログラム開発について習熟する。(A3,B5)</li> </ul>						
日程と内容	04月09日 ガイダンス・概要説明 04月16日 Cプログラミングの基本 04月23日 データ型・変数宣言 04月30日 配列 05月07日 ループ構造 05月14日 条件分岐構造 05月21日 関数 05月28日 前半のまとめ 06月04日 演習・臨時試験 06月11日 マクロ・ポインタ概要 06月18日 ポインタ変数 06月25日 構造体 07月02日 ソート 07月13日 総合演習(1) 07月16日 総合演習(2) 07月23日 定期試験						
成績評価基準	定期試験		55%	実技			
	臨時試験		10%	部外評価			
	報告書・レポート			プレゼンテーション			
	課題		35%	計		100%	
	演習						
授業到達目標の達成度	本講義は今年度より1年生⇒2年生へと開講年次が変更となっている。新カリキュラムに併せて目標を変更したこともあり、概ね達成できたと思われる。						
反省点	アンケートの「教員の説明の仕方は分かりやすかったですか?」が全体平均をやや下回っている点。受講者の理解度に大きな違いがあるため、特に演習において進度にバラツキが生じた点。最後まで出席し定期試験を受験した学生については概ね合格しているが、必修科目にも拘わらず途中で離脱する受講生がいる点						
来年度の計画	今年度より本格的にLMSを利用した講義となっているが、概ね問題がなかったと考える。来年度も同様の形式を踏襲していきたい。また、説明方法が不足している点を洗い出した上で来年度の講義では改善したいと考える						
授業評価アンケートに対するコメント	全体を通して、やや講義が理解できていないというアンケート結果であった。理解度については本講義はプログラミング技術を修得するという点において通常の講義とは異なり、座学だけの理解では単位修得に結びつかない。多くの演習を通して自分の力となるように努力して欲しい。						
履修登録者数	71名	定期試験 受験者数	58名	合格者数	43名	合格率	74%